



NEWS RELEASE

株式会社 すららネット

2025 年 5 月 30 日

多様化する学びに応える「すらら」 福井県立高等学校の定時制全 7 校で導入 各地の定時制高校でも活用広がる

AI を活用したアダプティブな対話式 ICT 教材の開発と提供を行う株式会社すららネット（本社：東京都千代田区、代表取締役：湯野川孝彦）が提供する「すらら」が、2025 年度より福井県内の県立定時制高校 7 校すべてに導入されることが決定しました。



トライアルを重ね、福井県内全 7 校への導入へ

生徒一人ひとりの学力や理解度に応じて学べる「すらら」は、個別最適な学習を支援し、基礎学力の定着に寄与できるとの期待から、県立高校の定時制 3 校でトライアルが実施されました。トライアルの成果を踏まえ、2025 年度からは県内すべての定時制高校での本格導入に至ります。

「すらら」で多様化する定時制高校の学びをサポート

定時制高校は、戦後「働きながら学ぶ」勤労青年に高校教育の機会を提供する場として制度化されました。現在では、学び直しを希望する若者など、様々な背景を持つ生徒が学んでおり、その役割は柔軟で多様な学びの場として広がっています。

「すらら」は、すでに東京都、長野県、山形県、静岡県、愛知県、徳島県の一部の定時制高校でも導入されております。

■AI×アダプティブラーニング教材「すらら」

「すらら」は、小学校から高校までの国語、算数／数学、英語、理科、社会 5 教科の学習を、先生役のアニメーションキャラクターと一緒に、一人一人の理解度に合わせて進めることができるアダプティブな ICT 教材です。レクチャー機能、ドリル機能、テスト機能により、一人ひとりの学力に応じて理解→定着→活用のサイクルを繰り返し、学習内容の理解と定着をワンストップで実現します。初めて学習する分野でも一人で学習を進めることができるのが特長で、学習塾をはじめ、小・中・高校、高等教育機関、放課後等デイサービスや個人学習等幅広い活用が広がっています。

■株式会社すららネット

すららネットは、「教育に変革を、子どもたちに生きる力を。」を企業理念に掲げ、AIを活用したアダプティブな対話式 ICT 教材「すらら」「すららドリル」などを開発・提供しています。現在、国内の 2,600 校以上の学校や学習塾で導入され、約 25 万人の児童生徒が利用しています。全国の公立学校や有名私立学校、大手塾での活用が広がる一方、不登校や発達障がい、経済的困難な状況の子どもたちにも学習機会を届けることで、教育課題の解決に取り組んでいます。2017 年には、代表的な EdTech スタートアップ企業として東証マザーズ市場（現東証グロース市場）に上場しました。

- ・コーポレートサイト <https://surala.co.jp/>
- ・サービスサイト <https://surala.jp/>